

賛 助 会 員

有限会社浜野顕微鏡 (〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

神協産業株式会社 (〒 742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒 985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒 060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒 541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒 140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせ下さい。

編集後記

本号も飲みニュケーション不足で、少しだけ減量した山梨大学の芹澤がメインで編集した和文誌「藻類」をお届けします。MSWord から本文を Adobe InDesign に流し込む際に、貼り付けできずに終了するエラーが発生したりしましたが、テキスト書類を経由することで貼り付けができるようになり、その内、Word から普通に貼り付けられるようになり、なんとか編集を終えることができました。編集時の姿勢の悪さからか、あるいはストレスからか、入稿前には背中や腰、胃が痛い日が続き、土日も家庭菜園の畑仕事ができないことがありました。これまでの編集委員長の方々のご努力に敬意を払いつつ、このまま引き継いで編集長の負担が大きすぎるので、編集は印刷会社に任せるか、複数名で対応するなどの改革を行わなければならないと感じている今日この頃です。また現在、Mac で使われてきたフォントを使用して「藻類」を編集しておりますが、Windows でも使える Adobe のフォントに変更することで、複数名での編集も可能になっていくものと考えられます。次号からフォントを変更を検討して参ります。

編集委員会委員長としては、ご投稿いただいた原稿は基本

的にリジェクトせず、できるだけ掲載する方向で行きたいと考えています。会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの影響で、本業だけでなく、出張や学会参加もままならず、フラストレーションもかなり溜まっていることと思います。その鬱憤を是非、和文誌「藻類」への投稿・掲載という形で、晴らして下さい!?

(芹澤如比古)

先生方が退職される際に行われる最終講義は遠方であっても聴講したいと思うのですが、なかなか願いが叶わず、私と同様の思いをされていらっしゃる方も多いのではないかと思います。そこで是非、この「藻類」の紙面でまた「特集 最終講義」を復活させたいと思っております。該当される先生方はご協力をよろしくお願い申し上げます。また学会員の皆様からのご意見、ご希望、情報などもお待ちしておりますので、和文誌編集委員までお気軽にお寄せ頂ければ幸いです。今回、Adobe Illustrator での表紙の編集作業に少し携わりましたが、カーソルを動かすたびに画面上に入力した覚えのない文章や#が次々に出て来て悪戦苦闘しました。

(芹澤(松山)和世)

表紙 キッコウグサ (*Dictyosphaeria cavernosa* (Forsskål) Børgesen)。

制作者：奥田 一雄

作成者より：キッコウグサはアオサ綱シオグサ目に属する海産の多核緑藻で、熱帯から温帯の潮間帯下部または潮下帯上部に生育する。写真は 1982 年に高知県夜須町の沿岸で採集した雄性配偶体から放出された配偶子由来の単為発生体の継代培養株で、22°C 長日条件で約 3 ヶ月培養した藻体。分割細胞分裂によって多細胞体に発達している。写真右側と左下に見える緑の小粒子は分割細胞分裂した若い娘細胞 (本誌 125-133 ページ参照)。